



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.10.28 No. 3882

12月ダイヤ改正闘争へ

10月22日 勝浦支部 定期大会

勝浦支部第一七回定期大会が、一〇月二二日勝浦市民会館において、営業への配転者を含め四〇名余りの組合員参加のもとに開催された。大会は議長に吉田光宏君を選出し議事に入った。

始めに支部執行委員会を代表して佐藤支部長は、この一年間の組合員の奮闘に感謝するとともに、厳しい情勢のもとで闘いを振り返りつつ「期待できる成果は勝ち取れなかったが、一二月ダイヤ改闘争を中心に、今後とも一つ一つの闘いを積み重ねて要求の前進を勝ち取って行きたい」と述べ、組合員の更なる団結を訴えた。

続いて本部を代表して田中書記長は、今日の政治情勢と当面する小選挙区制粉砕闘争の重要性および一二月ダイヤ改闘争をめぐる情勢と勝浦支部の方針を中心に第二〇回本部定期大会方針について三〇分にわたって展開した。

この後大会は、中村副支部長による経過報告および運動方針の提起、君塚書記長による決算報告および九三年度予算案の提起、さらに鈴木会計監査員の会計監査報告の後討論に入った。

大会は討論の後、新旧役員への挨拶を受け、一七時三〇分成功裏に終了した。



- 「討論のなかで出された意見」
- ダイヤ改の度にロングラン・仕業の持ち切りが増える。一二月ダイヤ改でこの打破を目指せ。
- 今の現場職制は超勤稼ぎばかりやっている。動労千葉のストがある超勤が稼げると公然と云っている。ストは三六協定を破棄してやれ。
- もっと効果的なスト戦術を！
- 勝浦〇番線工事に伴い、一方的に仕業変更。長期にわたる工事なので要因を張り付けろ。
- 鴨川等の折り返し列車では、駅・車掌の仕事の運転士に押しつけ。仕事の持ち区分を明確にしろ。
- 営業への強制配転者の原職復帰の展望を明らかにしろ。

1993年度役員名簿

役員名	氏名	年令	職名
執行委員長	滝口 義勝	49	運 転 士
執行副委員長	積田 利一	47	車両技術係
"	吉田 光宏	46	運 転 士
書記長	藤平 俊行	41	"
執行委員	高師 富士男	39	"
"	渡辺 佳則	37	"
"	寫田 紀光	35	"
"	田辺 敏男	34	"
"	高 梨 一夫	45	営業指導係
"	吉野 六郎	41	営業指導係
会計監査	鈴木 忍	44	"
"	出水 敏夫	42	"
選挙管理委員	江沢 英樹	50	"
"	奈良 輪孝	44	"
"	鶴岡 孝利	43	"

「地労委」スト破り褒章金!!

JR東、またしてもスト破りに褒章金支給!

一〇月十五日JR東は、三月、四月に行なった動労千葉のストライキに対し、またしてもスト破りへの褒章金を支払うことを明らかにした。われわれは、このJRによる支配介入に怒りを禁じ得ない。

この件に関しては、本年三月、すでに千葉地労委において「今後争議不参加者に褒章金その他のいかなる名目をもつても、金員等を支給するなどして動労千葉の運営に支配介入してはならない。一と一命令が発せられているのだ。

しかしJRは、「地労委がおかしい」などとして開き直り、さらに今回の褒章金支払いを行なおうとしている。また、千葉支社は、何とかその不当労働行為制を薄めようと、姑息にも昨年十二月の市川変電所故障の褒章金も合わせて支給するとしているのである。

現在この件に関する労働委員会闘争は、当局が「命令不服」として再審査申し立てを行い中労委へと舞台が移っている。

JRの不当労働行為を暴き出すために中労委闘争に勝利しよう! 怒りをもって褒章金支払いを弾劾し、受け取りを拒否しよう!

天孫降臨 結集 団結 闘争